

平成 16 年度

新潟県放射線監視センター年報

第 3 卷

平成 17 年 12 月

新潟県放射線監視センター

は じ め に

821. 2万kWの発電量という、1サイトとしては世界最大の原子力発電所である柏崎刈羽原子力発電所の安全確保の取り組みについては、昭和60年9月の1号機の営業運転開始から20年を経た現在、平成14年8月に公表された自主点検不正事案により失墜した信頼を回復するため、東京電力株式会社の様々な対策が講じられてきているところであります。

このような中、平成16年10月23日に発生した中越大震災により、新潟県は未曾有の被害を受けました。その際、当センター職員は地震発生後直ちに現地の柏崎刈羽放射線監視センター及び新潟市の放射線監視センターに登庁し、環境放射線監視テレメータシステム、可搬型モニタリングポスト等により、24時間体制で原子力発電所から放射性物質の放出が無いことを確認したところであります。

当センターの責務は、速やかに正確な調査情報を県民の皆様にお届けすることと考えており、中越大震災に際しても、県民の皆様に関心、安全のメッセージを発信することができたのではないかと考えております。今後ともデータ表示局やホームページでのリアルタイムデータの公表、正確で迅速な分析方法の開発・検証、データの変動要因把握等の研究に努め、様々な事象に対応してまいる所存であります。

このほど、平成16年度における環境放射線に関する調査結果及び調査研究成果を取りまとめ、新潟県放射線監視センター年報第3巻を発刊することとなりました。皆様の忌憚のない御意見、御教示を頂ければ幸いです。

平成17年12月

新潟県放射線監視センター所長

鈴木 博 之

目 次

I 業務報告編

1 運 営	3
1・1 沿 革	3
1・2 施設・設備の概要	3
1・3 組 織	6
1・4 予算・決算	7
1・5 主 要 備 品	7
1・6 行 事	8
1・7 外部委員会等への参画	10
1・8 外部団体からの表彰	10
2 業務概要	11
2・1 柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査	11
2・2 環境放射能水準調査	12
2・3 新潟県中越大震災への対応	12
2・4 調査研究業務	13
2・5 その他の業務	15

II 研究報告編

1 研究報告	19
【技術報告】	
1) 柏崎刈羽地域における浮遊じんの全ベータ放射能の変動状況と屋外ラドン濃度	21
山崎 興樹・笠原 貢・昆 信芳・藤巻 広司・坂上 央存	
2) 柏崎刈羽地域の土壌, ヨモギ中の ¹³⁷ Cs分布調査	31
坂上 央存・丸田 文之・藤巻 広司・山崎 興樹・殿内 重政	
【技術資料】	
1) 巡回監視車による柏崎刈羽周辺地域の環境放射線測定(3)	42
坂上 央存・丸田 文之・藤巻 広司・殿内 重政	
2) 自動観測局近傍におけるX線発生装置使用の影響調査	49
坂上 央存・丸田 文之・藤巻 広司・殿内 重政	
2 他誌発表	56
3 学会等発表	56

III 資料編

新潟県放射線監視センター年報 研究報告編投稿規程	61
新潟県放射線監視センター年報 研究報告編執筆要領	62